

本荘由利地域定住自立圏

共生ビジョン

令和8年3月19日

秋田県由利本荘市・にかほ市

目 次

1. 定住自立圏及び市町村の名称	
(1) 定住自立圏及び構成市町村の名称	1
2. 定住自立圏共生ビジョンの期間	1
3. 圏域の現状	1
4. 圏域の将来像	4
5. 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的な取り組み	
(1) 生活機能の強化への取組	6
(2) 結びつきやネットワークの強化への取組	16
(3) 圏域マネジメント能力の強化への取組	20

1. 定住自立圏及び市町村の名称

(1) 定住自立圏及び構成市町村の名称

本荘由利地域定住自立圏

(圏域重複型：中心市 由利本荘市、近隣市町村 にかほ市)

2. 定住自立圏共生ビジョンの期間

令和8年度から令和11年度までの4年間とする。

ただし、毎年度所要の変更を行う。

3 圏域の現状

圏域を構成する各地域における交通、福祉等の都市機能の集積状況は以下のとおりであります。

【由利本荘市】

	定住自立圏の 目指すべき都市機能	施設名
交通	●幹線道路	国道7号、国道105号、国道107号、国道108号、国道341号、国道398号、主要地方道秋田雄和本荘線、主要地方道本荘西仙北角館線、主要地方道横手大森大内線、主要地方道神岡南外東由利線、主要地方道仁賀保矢島館合線、主要地方道羽後向田館合線、主要地方道本荘西目線、主要地方道雄和岩城線、主要地方道横手東由利線、主要地方道本荘大内線、主要地方道十字羽後鳥海線、主要地方道象潟矢島線、主要地方道本荘岩城線、主要地方道鳥海矢島線、日本海東北自動車道（西目～岩城間）
	●JR駅	西目駅、羽後本荘駅、羽後岩谷駅、折渡駅、羽後亀田駅、岩城みなと駅、道川駅
	●由利高原鉄道駅	羽後本荘駅、薬師堂駅、子吉駅、鮎川駅、黒沢駅、曲沢駅、前郷駅、久保田駅、西滝沢駅、吉沢駅、川辺駅、矢島駅
	●高速バス	本荘⇄東京、本荘⇄仙台

医療・福祉	●地域がん診療連携拠点病院	由利組合総合病院
	●救急指定病院	佐藤病院、本荘第一病院、由利組合総合病院
	●災害拠点病院	由利組合総合病院
教育	●大学・大学校	秋田県立大学本荘キャンパス
	●高等学校	県立本荘高等学校、県立由利高等学校、県立由利工業高等学校、県立西目高等学校、県立矢島高等学校
	●専修・各種学校	由利本荘看護学校
	●特別支援学校	県立ゆり支援学校
文化	●文化ホール	由利本荘市文化交流館 カダーレ
	●図書館	由利本荘市中央図書館、由利本荘市岩城図書館、由利本荘市由利図書館
行政	●国	秋田地方法務局本荘支局、本荘税務署、ハローワーク本荘、本荘社会保険事務所、本荘労働基準監督署、由利森林管理署、国土交通省東北地方整備局鳥海ダム工事事務所、国土交通省東北地方整備局秋田河川国道事務所子吉川出張所、国土交通省東北地方整備局秋田河川国道事務所本荘国道維持出張所、国土交通省東北地方整備局鳥海ダム工事事務所
	●裁判所	秋田地方裁判所 本荘支部、秋田家庭裁判所 本荘支部、本荘簡易裁判所
	●県	由利地域振興局、由利本荘保健所、由利本荘警察署
	●市	由利本荘市役所本庁舎、由利本荘市役所第二庁舎、由利本荘市消防本部、由利本荘市企業局、由利本荘市役所矢島総合支所、由利本荘市役所岩城総合支所、由利本荘市役所由利総合支所、由利本荘市役所大内総合支所、由利本荘市役所東由利総合支所、由利本荘市役所西目総合支所、由利本荘市役所鳥海総合支所

【にかほ市】

	定住自立圏の 目指すべき都市機能	施設名
交通	● 幹線道路	一般国道 7 号、主要地方道仁賀保矢島館合線、主要地方道象潟矢島線、日本海東北自動車道（象潟～仁賀保間）
	● J R 駅	仁賀保駅、金浦駅、象潟駅、上浜駅、小砂川駅
	● 高速バス	本荘⇄東京、本荘⇄仙台
教育	● 高等学校	県立仁賀保高等学校
文化	● 文化ホール	仁賀保勤労青少年ホーム
	● 図書館	にかほ市立図書館こぴあ、同仁賀保分館、同象潟分館
行政	● 県	にかほ幹部交番
	● 市	にかほ市役所象潟庁舎、にかほ市役所金浦庁舎、にかほ市役所仁賀保庁舎、にかほ市消防本部

4 圏域の将来像

我が国の総人口は、今後も急速な減少が見込まれており、三大都市圏においても人口減少や高齢化が進行する「過密なき過疎」の時代に突入している。当圏域においても、将来人口は長期的に大幅な減少が予測され、地域の活力維持にとって厳しい局面を迎えている。

これにより、これまでに経験したことのない少子高齢化の進行や生産年齢人口の減少、加えて保健・医療・福祉をはじめとした行政需要の増大、地域経済の縮小が懸念されるとともに、災害や感染症など社会情勢の不確実性への備えも求められている。

また、地方分権の進展やデジタル化、住民ニーズの多様化により、基礎自治体はこれまで以上に広範な分野で自己決定・自己責任を果たすことが求められており、地域の個性や魅力を最大限発揮しながら、行政経営の質的・量的向上を図っていかねばならない。

このような厳しい環境の中であって、当圏域が持続的に発展していくためには、圏域内からの人口流出を抑制するとともに、圏域外からの交流・関係人口の拡大、移住・定住につながる人の流れを生み出し、自立した魅力ある社会空間を形成していくことが不可欠である。

圏域を構成する2市は、永い年月をかけて培ってきた生活文化や産業、豊かな自然環境など、それぞれが有する多様な資源を尊重し合い、圏域全体の均衡ある発展に向けた役割分担を明確にしながら連携を強化することで、共通課題の解決を図る。

さらに、地域産業の連携と新技術の活用により既存産業の競争力を高め、デジタル等の成長分野への挑戦を進め、若年層にとって魅力ある雇用機会の創出に取り組み、未来世代にわたり活力と賑わいが続く本荘由利圏域の実現を目指す。

当圏域は、本荘地域を中心として整備されてきた道路網や商工業、地域ごとの特性を活かして発展してきた農林水産業、鳥海山や日本海などに代表される豊富な観光資源など、多彩な地域資源を有している。

これらのポテンシャルを相互に補完し、多様なライフスタイルを実現できる魅力ある生活圏を創造することで内外から人々を惹きつける、地方生活圏の新しい姿の創出を目指すものである。

○将来推計人口等

(H22・27,R2 国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所令和5年12月公表)

	H22	H27	R2	R7	R22
圏域人口	112,773	105,251	98,142	90,514	68,303
【由利本荘市】	85,229	79,927	74,707	69,070	52,614
【にかほ市】	27,544	25,324	23,435	21,444	15,689
高齢者人口	32,673	35,292	37,012	36,633	31,660
【由利本荘市】	24,700	26,577	27,872	27,674	23,949
【にかほ市】	7,973	8,715	9,140	8,959	7,711
高齢化率	29.0%	33.5%	37.7%	40.5%	46.4%
【由利本荘市】	29.0%	33.3%	37.3%	40.1%	45.5%
【にかほ市】	29.0%	34.4%	39.0%	41.8%	49.1%

○目標値（圏域市人口ビジョン）

	H22	H27	R2	R7	R22
圏域人口	112,773	106,523	98,851	90,064	68,027
【由利本荘市】	85,229	80,153	75,877	69,126	52,792
【にかほ市】	27,544	25,324	22,974	20,938	15,235

5. 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的な取り組み

(1) 生活機能の強化への取組

医療

【形成協定】

(ア) 病院群輪番制病院運営事業への支援

圏域内における休日・夜間の二次救急医療体制について、機能維持及び充実を図るため、共同で必要な財政措置を講ずるとともに、事業運営を支援する。

(イ) 地域中核病院医療機器整備等支援事業

安心できる医療体制を確立するため、圏域の中核病院である由利組合総合病院の老朽化した医療機器の更新に対し補助を行い、圏域外へ搬送される患者の減少を図るとともに、効果的な医療の提供が可能となるよう、必要な支援を行う。

(ウ) 由利本荘看護学校運営費補助事業

看護師の安定的な確保を通じて地域医療体制の維持を図るため、由利本荘看護学校に対して必要な財政支援を講ずる。

【成果指標】

指標	現状 (R6)	目標 (R11)
24 時間 365 日の救急医療体制の確保	確保	継続して確保

事業名	病院群輪番制病院運営事業への支援					関係自治体		
<p>(1) 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域内において休日、夜間における二次救急医療体制の機能維持及び充実を図るため、必要な財政措置並びに事業運営を支援する。 <div data-bbox="288 481 1104 824" style="text-align: center;"> <p>二次救急医療</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;"> 由利組合総合病院 日、火、木、土曜日 令和6年度 利用者数 4,132人 </td> <td style="text-align: center;"> 本荘第一病院 水、金曜日 令和6年度 利用者数 731人 </td> <td style="text-align: center;"> 佐藤病院 月曜日 令和6年度 利用者数 300人 </td> </tr> </table> <p>病院群輪番制</p> </div> <p style="text-align: right;">由利本荘市 ・にかほ市</p>						由利組合総合病院 日、火、木、土曜日 令和6年度 利用者数 4,132人	本荘第一病院 水、金曜日 令和6年度 利用者数 731人	佐藤病院 月曜日 令和6年度 利用者数 300人
由利組合総合病院 日、火、木、土曜日 令和6年度 利用者数 4,132人	本荘第一病院 水、金曜日 令和6年度 利用者数 731人	佐藤病院 月曜日 令和6年度 利用者数 300人						
<p>(2) 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3救急告示病院が共同連携して診療に当たる体制を維持することで、二次救急体制の強化が図られ、圏域住民が安心して健康に暮らせる地域社会に貢献する。 								
(3) 事業費(千円)	8	9	10	11	計			
由利本荘市	19,637	19,637	19,637	19,637	78,548			
にかほ市	5,142	5,142	5,142	5,142	20,568			
<p>(4) 国県補助事業等の名称、補助率等</p> <p>なし</p>								
<p>(5) 役割分担に係る基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両市が連携して、3救急告示病院と協議し二次救急医療体制の機能維持及び充実を図る。 ・3救急告示病院へ、両市がそれぞれの利用者割合に基づき補助金を交付する。 								

事業名	地域中核病院医療機器整備等支援事業				関係自治体
(1) 事業概要 <ul style="list-style-type: none"> ・由利本荘・にかほ医療圏の「地域がん診療病院」としての役割を担っている由利組合総合病院の医療機器（放射線治療装置）更新に係る費用の一部を助成する。 ・令和9年度から、由利組合総合病院の医療機器更新計画に合わせて、両市が共同で費用の一部を助成する。 					由利本荘市 ・にかほ市
(2) 成果 <ul style="list-style-type: none"> ・医療機器の更新により、がん治療体制を維持・強化し、住民が安心して治療を受けられる環境が整う。 ・由利本荘・にかほ医療圏内で治療を継続的に提供することで、遠方への通院負担を軽減し、圏域住民が効果的ながん治療を受けることができる。 ・費用を助成することで、病院経営の安定化を図り、地域医療の持続可能性が確保できる。 					
(3) 事業費(千円)	8	9	10	11	計
由利本荘市	0	14,000	14,000	14,000	42,000
にかほ市	0	6,000	6,000	6,000	18,000
(4) 国県補助事業等の名称、補助率等 なし					
(5) 役割分担に係る基本的な考え方 <ul style="list-style-type: none"> ・両市が連携して、医療機器更新に対する補助金を交付するとともに、中核病院の医療の向上について周知を図る。 					

事業名	由利本荘看護学校運営費補助事業					関係自治体
<p>(1) 事業概要</p> <p>由利本荘看護学校は、卒業生の約半数が由利本荘・にかほ地域内の医療機関等へ就職しており、地域に根ざした看護師養成の重要な役割を担ってきたが、近年は志願者減少等により令和9年度の学生募集停止が決定している。</p> <p>このため、当面、本校の運営が円滑に継続されるよう必要な財政支援を行い、看護師の安定的な確保を通じて地域医療体制の維持を図る。また、現在、県を中心に、県内他看護学校を本校としたサテライト校化の可能性が検討されており、財政面や学生確保に関する支援のあり方を、県を含め引き続き協議していく。</p> <p>【補助の区分と適用年度】</p> <p>令和8年度：基本分＋入学者減少特別支援分 令和9～10年度：令和9年度学生募集停止により基本分のみ 令和11年度：令和8年度入学者が令和10年度に卒業することで学生数がゼロとなるため補助なし。</p>						由利本荘市 ・にかほ市
<p>(2) 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業生の約半数が圏域内の医療機関等に就職しており、地域に根ざした看護師養成施設として、当校への財政支援は地域医療体制の維持に大きく寄与している。 						
(3) 事業費(千円)	8	9	10	11	計	
由利本荘市	6,014	1,700	1,700	0	9,414	
にかほ市	2,050	700	700	0	3,450	
<p>(4) 国県補助事業等の名称、補助率等</p> なし						
<p>(5) 役割分担に係る基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> 両市が連携して学校運営に対する補助金を交付するとともに、財政面や学生確保に対する支援のあり方について、引き続き県と協議を行う。 ※補助金額は両市の人口割合により決定する。 						

産業振興

【形成協定】

(ア) 産学官金連携による地域産業の振興

地域の「ものづくり」を担う人材育成を重点事項ととらえ、本荘由利産学共同研究センターが有する人材育成等の機能を拡充し、これまでの電子部品・デバイス製造業の産業集積に加え、将来性ある成長産業として輸送機関連産業や再生可能エネルギー産業等への進出を目指し取り組んでいる地域企業を戦略的に支援し、圏域内の新産業創造と集積力を高める。

(イ) 観光の核となる鳥海山エリアの魅力強化

鳥海山麓や周辺の自然・歴史・食文化など多様な観光資源や体験コンテンツを強化し、ターゲット及びテーマ別モデルコースを作成するとともに、鳥海ダム建設を踏まえた法体園地の環境整備や鳥海山信仰を起源とする民俗芸能の記録の充実を図り、観光市場や首都圏等への売り込みや情報発信を通して誘客を促進する。

(ウ) 高付加価値農業導入支援事業

米政策の転換により、産地間競争の激化や米価の不安定化が懸念される中、大規模化及び団地化を図り、野菜や花きの産出額を増加させることにより、農家所得の向上や安定化を図る。

【成果指標】

指標	現状 (R6)	目標 (R11)
産学官金連携事業件数	21 件	26 件
観光客入込客数	3,734 千人 由利本荘市 1,757 千人 にかほ市 1,977 千人	4,085 千人 由利本荘市 2,085 千人 にかほ市 2,000 千人

事業名	産学官金連携による地域工業振興事業				関係自治体
<p>(1) 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本荘由利産学共同研究センターの中核機能である人材育成機能の充実に向けた財政支援に加え、地域企業がIoT、AI等革新技術を導入し、さらなる生産性向上と高付加価値化に資する取り組みを積極的に支援する。 ・地域技術力を広く情報発信しながら、行政と民間による共同受注プロモート活動を展開する。 (首都圏2回、東海圏または関西圏1回) <div data-bbox="469 638 911 987" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">産学官金連携の推進拠点 「本荘由利産学共同研究センター」</p>					由利本荘市 ・にかほ市
<p>(2) 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋田県立大学と地域企業等の産学連携推進拠点として、本荘由利産学共同研究センターの機能充実が図られるとともに、既存の電子部品・デバイス産業の産業集積に加え、輸送機関連産業等に進出する地域企業の取り組みを支援することで産業の相乗効果を拡大させ、経営の安定化と地域の雇用創出につなげる。 ・圏域の企業間連携を促進することにより、「本荘由利圏域」の技術カブランドをマーケット現場に情報発信していく。 					
(3) 事業費(千円)	8	9	10	11	計
由利本荘市	3,788	3,788	3,788	3,788	15,152
にかほ市	350	350	350	350	1,400
<p>(4) 国県補助事業等の名称、補助率等 なし</p>					
<p>(5) 役割分担に係る基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両市が連携して、必要な情報収集などを行いながら、再生可能エネルギー関連産業や輸送機関連産業への進出を目指す地域企業を支援する。 					

事業名	観光の核となる鳥海山エリアの魅力強化				関係自治体
<p>(1) 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥海山麓及び庄内地域を含めた環鳥海広域連携によるブランド及び情報発信の強化 ・資源を活用した観光プログラム及び体験型観光による誘客推進 ・観光市場、首都圏等への観光売り込みの実施 ・鳥海山・飛島ジオパークの推進による環鳥海地域の観光振興 ・鳥海山登山道、観光案内看板の設置（点検登山の実施等） ・鳥海ダム建設事業の活用と法体園地の環境整備 ・鳥海山案内人等ガイドの育成支援 ・桑ノ木台湿原等鳥海山観光スポットへのシャトルバス運行 ・鳥海山ライブカメラ設置 ・デジタル技術を活用した観光資源の記録及び保管 <div data-bbox="475 819 924 1155" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">鳥海山【竜ヶ原湿原】</p>					由利本荘市 ・にかほ市
<p>(2) 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光資源や体験コンテンツを強化するとともに、首都圏等への売り込みや情報発信を通して誘客を促進することにより、地域活性化につなげる。 					
(3) 事業費(千円)	8	9	10	11	計
由利本荘市	43,050	63,050	283,050	283,050	672,200
にかほ市	16,420	16,420	16,420	16,420	65,680
<p>(4) 国県補助事業等の名称、補助率等 なし</p>					
<p>(5) 役割分担に係る基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両市が連携して、圏域全体の観光施設・観光資源を把握し、適切な観光ルートにおける観光事業団体との連携を進め、全国に向けた情報発信を行うとともに、首都圏など県外からの誘客促進を図る。 					

事業名	高付加価値農業導入支援事業				関係自治体
(1) 事業概要					由利本荘市 ・にかほ市
<ul style="list-style-type: none"> ・園芸作物の規模拡大や機械・施設等の導入を支援する県事業である「夢ある園芸産地創造事業」を積極的に活用し、市の嵩上げ助成を行うことで野菜や花きの産出額の増加を図る。 					
(2) 成果					
<ul style="list-style-type: none"> ・米政策の転換により、米価の不安定化が懸念される中、園芸作物の規模拡大や作業効率化が進み、野菜や花きの産出額増加、農家所得の安定化・向上が図られる。 					
(3) 事業費(千円)	8	9	10	11	計
由利本荘市	145,153	106,375	106,375	106,375	464,278
にかほ市	30,000	15,000	15,000	15,000	75,000
(4) 国県補助事業等の名称、補助率等					
<ul style="list-style-type: none"> ・夢ある園芸産地創造事業（園芸産地育成事業）（県 1/3） ・夢ある園芸産地創造事業（大規模園芸拠点整備事業）（県 1/2） ・産地生産基盤パワーアップ事業（国 1/2） 					
(5) 役割分担に係る基本的な考え方					
<ul style="list-style-type: none"> ・両市が連携して、圏域全体の圃場や生産品目の状況を把握し、県、JA等の関連団体と連携しながら、より収益性の高い品目の効率的な生産や規模拡大を支援する。 					

教育文化振興

【形成協定】

(ア) 民俗芸能・伝統芸能の伝承活動の振興と後継者育成

圏域内に数多く存在する民俗・伝統芸能を保存継承していくために、公開・公演の場を設けるとともに、相互交流を進めながら、団体の育成支援を行う。

【成果指標】

指標	現状 (R6)	目標 (R11)
民俗芸能継承支援団体数	16 団体 由利本荘市 5 団体 にかほ市 11 団体	19 団体 由利本荘市 7 団体 にかほ市 12 団体

事業名	民俗芸能・伝統芸能の伝承活動支援事業				関係自治体
<p>(1) 事業概要</p> <p>本圏域に永年にわたって継承されてきた民俗芸能の後継者育成、記録作成、現地公開、芸能復活への支援として民俗芸能団体への育成支援を行う。</p> <p>【由利本荘市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民俗芸能保存団体育成プロジェクト事業 (支援内容) 年間5団体程度に対し補助金(民俗芸能団体育成交付金: 上限10万円/年)を交付する。 <p>【にかほ市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 無形民俗文化財継承活動支援事業 (支援内容) 継承活動を行う団体に対し、謝礼(1団体5万円/年)を支払う。 					由利本荘市 ・にかほ市
<p>(2) 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 民俗芸能団体の相互交流を促し、郷土に対する愛着心と継承意識を向上させる。併せて地域の魅力を再発見する機会となり、圏内外へ広く発信していこうとする意欲の向上につながる。 					
(3) 事業費(千円)	8	9	10	11	計
由利本荘市	500	500	500	500	2,000
にかほ市	550	550	550	600	2,250
<p>(4) 国県補助事業等の名称、補助率等</p> <p>なし</p>					
<p>(5) 役割分担に係る基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> 両市が連携し、各地域の保存会等の組織化及び維持・活性化ならびに相互交流を推進し、伝承活動を継続するための記録保存や展示・公演等の活動を支援する。 					

(2) 結びつきやネットワークの強化への取組

地域公共交通

【形成協定】

(ア) 地域公共交通サービスの維持確保と交通空白地域の解消

既存の公共交通機関である鉄道、バスの維持確保を図るとともに、各地域の実情に応じたコミュニティバス等のフィーダー輸送により、都市機能集積地と周辺地域を結ぶ幹線路線へのアクセス向上を図る。

【成果指標】

指標	現状 (R6)	目標 (R11)
地域間幹線における平均運行本数	11 便	継続して確保

事業名	地域公共交通再編推進事業					関係自治体
(1) 事業概要 ①コミュニティバス運行事業 運行経費、車両更新 ②生活バス路線維持確保事業 路線バス運行に係る欠損額の負担 ③「乗り [逢い] 交通」事業 町内会等が自主運営する事業への支援						由利本荘市 ・にかほ市
(2) 成果 ・交通インフラの維持・確保 ・地域の移動に関する課題解決						
(3) 事業費(千円)	8	9	10	11	計	
由利本荘市	304,534	306,489	308,449	308,449	1,227,921	
にかほ市	91,262	93,262	95,262	95,262	375,048	
(4) 国県補助事業等の名称、補助率等 ・地域内フィーダー系統確保維持費 国庫補助金 (国 1/2) 市町村毎の上限額あり ・地域内フィーダー系統確保維持費 県単補助金 (国の上限額までの嵩上げ) ・生活バス路線維持費補助金 (県 1/2~1/8) ・地方バス運行経費として市町村負担への特別交付税措置 (80%)						
(5) 役割分担に係る基本的な考え方 ・両市が相互に連携し、医療、福祉、商業、交流施設等をつなぐ循環型交通ネットワークの形成と交通結節機能の強化を図る。このうち、由利本荘市は圏域全体の拠点として、これらの取組を中心的に担う。						

移住の促進

【形成協定】

(ア) 移住定住に関する取組の推進

人口減少、少子高齢化等による地域を支える担い手の不足は、地域コミュニティ機能の低下や地域経済活動の停滞を招き、地域活力を損なうことが懸念されるため、ウェブサイト等を活用した情報発信や、首都圏等での多様な移住イベントによる移住希望者の掘り起こしと個別相談、「無料職業紹介所」の運営による雇用のマッチング、結婚支援等により、移住・定住の促進につなげる。

【成果指標】

指標	現状 (R6)	目標 (R11)
当圏域への移住者数	51 人 由利本荘市 31 人 にかほ市 20 人	累計 301 人 由利本荘市 201 人 にかほ市 100 人

事業名	移住・定住促進事業				関係自治体
<p>(1) 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市及び移住専用サイトや関係機関のウェブサイトを活用した情報発信 ・首都圏等での移住希望者の掘り起こしと個別相談による後押し ・「仕事」や「住まい」など、移住にかかる相談をワンストップで対応 ・移住前後に係る費用に対する助成 ・若者の地元定着にむけた奨学金返還に対する助成等 ・事業所、団体、地域等と連携した移住希望者等の移住体験の受け入れ ・未就学児から大学生までの将来を担う世代を対象とし、地域とともに関係を育む「ゆりほん保育・教育遊学」の推進 					<p>由利本荘市 ・にかほ市</p>
<p>(2) 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材の発掘、雇用のマッチング等により、移住・定住の面から人口減少対策につながる。 					
(3) 事業費(千円)	8	9	10	11	計
由利本荘市	34,091	34,091	26,716	26,716	121,614
にかほ市	31,668	31,118	32,122	32,606	127,514
<p>(4) 国県補助事業等の名称、補助率等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村移住支援事業費補助金 75% 					
<p>(5) 役割分担に係る基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・由利本荘市は、都市機能を備えた圏域中心市として、移住者・定住者に魅力ある地域を目指す。 ・にかほ市は、由利本荘市の医療、教育等の環境と連携しながら、圏域の魅力ある暮らし方を発信し、移住・定住の促進を図る。 					

(3) 圏域マネジメント能力の強化への取組

※国の定住自立圏構想推進要綱の改正を踏まえ、本ビジョンにおける「圏域マネジメント能力の強化への取組」については、「資源制約に対応するための圏域マネジメント等」の取組として整理する。

人材育成等

【形成協定】

(ア) 職員の合同研修等の実施

圏域内市職員の資質向上を図るため、合同研修をはじめとする各種事業に取り組む。

【成果指標】

指標	現状 (R6)	目標 (R11)
合同研修会等の開催	0回	年1回以上

事業名	職員の合同研修等の実施				関係自治体
(1) 事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 圏域で職員研修に係る情報を共有するとともに、圏域市職員の資質向上を図るため、合同研修をはじめとする多様な学習機会の確保・充実を図る。 				由利本荘市 ・にかほ市
(2) 成果	<ul style="list-style-type: none"> 圏域市職員の資質向上に資する機会の増大が図られる。 				
(3) 事業費(千円)	8	9	10	11	計
由利本荘市					
にかほ市					
(4) 国県補助事業等の名称、補助率等	なし				
(5) 役割分担に係る基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> 両市が連携して研修事業等を行い、相互に必要な経費を負担する。 				